

【EDIX 2026 大阪 開催まで1週間】学校の“うっかり共有”をAIで自動検知 — DriveChecker、教育機関向け「ClassroomChecker」を10月13日～15日にデモ展示

EDIX 大阪 2026

2026年 **10月13日(火)～15日(木)**
グランキューブ大阪

ブース番号
10階 ST16

**いじめ・配慮事項情報の
漏えいリスク
チェックシート**

Google Workspace を使う学校で起きやすい
15項目・5分で自己点検

ブース来場者限定

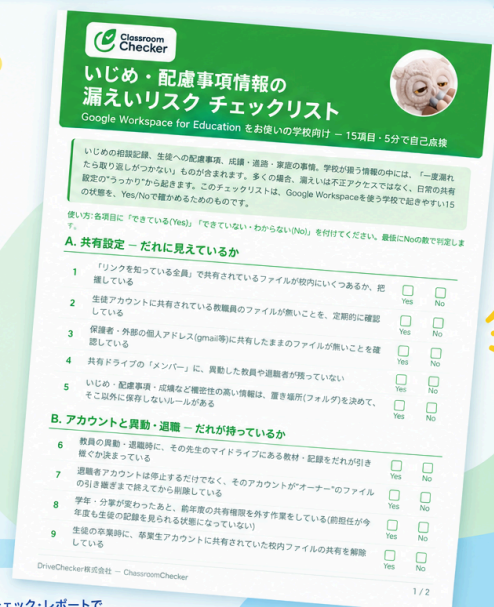
チェックシートを **無料配布!**

 共有設定の
見直しをサポート

 アカウント管理を
カンタンに

 Classroomの
安全な運用を支援

 チェック・レポートで
リスクを可視化



ClassroomChecker
いじめ・配慮事項情報の
漏えいリスク チェックリスト
Google Workspace for Education をお使いの学校向け — 15項目・5分で自己点検

いじめの相談記録、生徒への配慮事項、成績・進路・家庭の事情、学校の扱う情報の中には、「一差支れ
たなら取り返しつかない」ものが含まれます。多くの場合、漏えいは不正アクセスではなく、日常の共有
設定の“うっかり”から起きます。このチェックリストは、Google Workspaceを使う学校で起きやすい15
の状態を、Yes/Noで確かめるためのものです。

使い方は項目に「できている(Yes)」「できていない・わからない(No)」を付けてください。最後にNoの数を特定しま
す。

A. 共有設定 — だれに見えているか

1	「リンクを知っている全員」で共有されているファイルが校内にいくつあるか、把握している	☐ Yes ☐ No
2	生徒アカウントに共有されている教員のファイルが正しいことを、定期的に確認している	☐ Yes ☐ No
3	保護者・外部の個人アドレス(email等)に共有したままのファイルが無いことを確認している	☐ Yes ☐ No
4	共有ドライブの「メンバー」に、異動した教員や退職者が残っていない	☐ Yes ☐ No
5	いじめ・配慮事項・成績など機密性の高い情報は、置き場所(フォルダ)を決めて、そこから以外に保存しないルールがある	☐ Yes ☐ No

B. アカウントと異動・退職 — だれが持っているか

6	教員の異動・退職時に、その先生のマイドライブにある教材・記録をだれが引き継ぐか決まっている	☐ Yes ☐ No
7	退職者アカウントは停止するだけでなく、そのアカウントがオーナーのファイルの引き継ぎまで済ませてから削除している	☐ Yes ☐ No
8	学年・分掌が変わったあと、最年度の共有権限を保持作業をしている(原則社が今年度も生徒の記録を見られる状態になっていない)	☐ Yes ☐ No
9	生徒の卒業時に、卒業生アカウントに共有されていた校内ファイルの共有を解除している	☐ Yes ☐ No

DriveChecker株式会社 — ClassroomChecker 1 / 2

DriveChecker株式会社(本社:大阪府大阪市西区、以下 当社)は、来週2026年10月13日(火)～15日(木)にグランキューブ大阪で開催される教育総合展「EDIX 2026 大阪」に出展し、教育機関向け製品「ClassroomChecker」のデモ展示を行います。

ブースでは、いじめの相談記録や生徒への配慮事項といった機微な情報の“うっかり共有”をAIが自動で検知する様子を、実際の画面でご覧いただけます。ブースにお立ち寄りいただいた方全員に「いじめ・配慮事項情報の漏えいリスク チェックリスト(15項目)」を無料で進呈します。来場には事前登録(無料)が必要です。開催まで残り1週間、ぜひお早めにご登録ください。

■ 背景: 学校の情報漏えいは“不正アクセス”より“うっかり共有”から起きる

GIGAスクール構想により、多くの学校でGoogle Workspace for Educationが日常的に使われるようになりました。一方で、いじめの相談記録、生徒への配慮事項、成績・進路情報といった機微な情報が、次のような“設定のうっかり”で外に出るリスクがあります。

- 「リンクを知っている全員」設定のまま残っている
- 担任交代後も、前担任から見え続けている
- 退職した教員のアカウントに残ったままになっている

こうしたリスクは、教員一人ひとりの注意だけでは防ぎきれません。仕組みで検知し、是正することが求められています。

■ ClassroomCheckerの特長

新年度準備や退職時の引き継ぎなど

生徒への誤共有を 確実にブロック

POINT01



DLPで、生徒への情報漏えいを防ぐ

POINT02



閲覧・編集権限をAIが的確に提案

POINT03

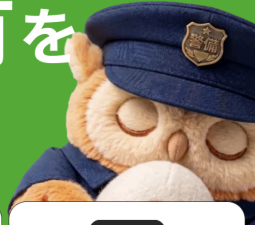


24時間365日自動でチェック

POINT04



教員・グループの権限を一括管理



1. AIが学校特有の機密データを学習し、検知ルールを自動提案

過去1年分のファイルをAIが分析し、いじめ報告・配慮事項などの傾向を学習して「見つけるべき共有」を提案します。

2. ポリシー制御

「誰が誰に共有してよいか」を学年・校務分掌ごとに設定できます。違反時は、即時共有解除、有効期限付き共有への変更、承認フローのいずれかを自動で実行します。

新年度準備や退職時の引き継ぎなど

年度更新を かんたん効率化

POINT01

CSVだけで新年度クラスを自
動構築

POINT02

全校のクラス・所属エラーを
ひと目で確認

POINT03

退職・転任による教材消滅を
100%防ぐ

3. Google Classroomの一元管理

名簿からのクラス一括作成、前年度教材の自動コピー、年度末アーカイブの一括処理に対応します。

4. 教員の転任・退職時プロトコル

退職・異動する教員のマイドライブ内の教材・記録を自動で洗い出し、後任へ一括で移譲します。

■ EDIX 2026 大阪 出展概要

会期	2026年10月13日(火)～15日(木) 10:00～17:00
会場	グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)
小間番号	10階 ST16
展示内容	ClassroomCheckerの画面と機能のご紹介、DriveChecker(Googleドライブ共有管理)
来場者特典	ブースにお立ち寄りの方全員に「いじめ・配慮事項情報の漏えいリスクチェックリスト(15項目)」を進呈

来場登録(無料)	EDIX 2026 大阪 来場登録ページ
----------	--------------------------------------

■ DriveChecker株式会社について

Google Workspaceのファイル共有を可視化・自動管理する「DriveChecker」を提供しています。
契約ユーザー数は3万人以上(2026年10月時点)。

(製品ページ)

DriveChecker: <https://drivechecker.co.jp/>

ClassroomChecker: <https://drivechecker.co.jp/classroomchecker>

【会社概要・お問い合わせ先】

社名: DriveChecker株式会社

所在地: 大阪府大阪市西区新町1丁目5-7 四ツ橋ビルディング3階

お問い合わせ: support@drivechecker.co.jp